

## 水害が発生したら

水害は、事前に天気予報などを確認することで、ある程度予測をつけることが可能です。しかし、避難するタイミングは一人ひとり異なります。表に掲載されている警戒レベルを参考にしつつ、正しく安全な避難が出来るよう日ごろから心がけることが重要です。

警戒レベル	泉田水位観測所	発杭川排水機場	居住者がとるべき行動	行動を居住者等に促す情報
レベル5 (災害発生)	—	—	既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。	<b>災害発生情報</b> ※ ※災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令
レベル4 (氾濫危険水位)	5.20	—	・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。 ・災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、 <u>近隣の安全な場所への避難</u> や建物内のより安全な部屋への移動等の緊急の避難をする。	<b>避難指示(緊急)</b> ※ <b>避難勧告</b> <b>特別警報級</b> ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令
レベル3 (避難判断水位)	4.65	—	避難に時間のかかる高齢者等の要配慮者は立退き避難する。その他の人は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> <b>警報級</b>
レベル2 (氾濫注意水位)	3.85	3.00	ハザードマップ等により災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認、避難情報の把握手段の再確認・注意など、 <u>避難に備え自らの避難行動を確認する</u> 。	<b>注意報級</b>
レベル1	3.10	2.80	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、 <u>災害への心構えを高める</u> 。	—

## 避難所・情報入手先一覧

○指定避難所・避難可能施設・対策拠点		
指定避難所	富士松南小学校	0566-36-0404
避難可能施設	泉田市民館	0566-23-9943
対策拠点 ※各組で決められた拠点を記入しましょう	組の対策拠点は	

○災害時情報入手先一覧	
刈谷市ホームページ	<a href="https://www.city.kariya.lg.jp/">https://www.city.kariya.lg.jp/</a>
地上デジタルテレビ放送	dボタン (メーテレ・NHK・キャッチで川の水位情報の確認が可能)
キャッチネットワーク HP	<a href="https://www.katch.co.jp/">https://www.katch.co.jp/</a>
ラジオ放送 (Pitch-FM)	83.8MHz
国土交通省 川の防災情報	<a href="https://www.river.go.jp/portal/#85">https://www.river.go.jp/portal/#85</a>
愛知県 川の防災情報	<a href="https://www.kasen-aichi.jp/">https://www.kasen-aichi.jp/</a>
刈谷市役所	0566-23-1111(代表)

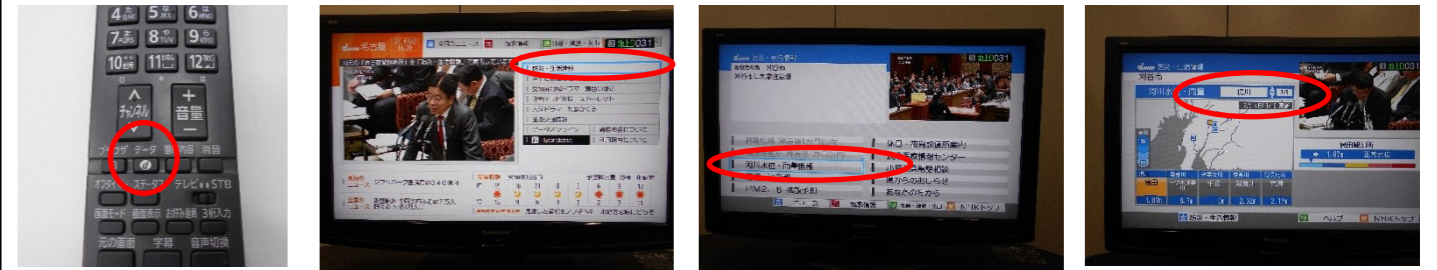
- 普段からチェックしましょう
- ・近くの川の水位
  - ・洪水ハザードマップで自宅の浸水予測を調べる
  - ・過去の水害経験を知る
  - ・一時避難できそうな高い建物
  - ・避難所までのルート(※)  
※状況に合わせて複数のルートを考えておきましょう

## 避難するときは

- **運動靴**をはく  
長靴や裸足は危険！
- **身軽な荷物**で  
荷物は背中に背負い、手を自由にしましょう。
- **足元**を確かめる  
側溝やマンホールのふたが外れていることがあります。
- **車を使わない**  
車避難は警戒レベル3までにしましょう。レベル4以降は歩いて避難しましょう。
- **情報**を集める  
市や気象庁、ラジオなどから災害情報を集めましょう。
- なるべく**複数**で  
近所の人と声をかけあいましょう。

## dボタンを使った情報入手方法

地上デジタルテレビ放送のdボタンを使って、川の水位や雨量の情報を入手することができます。(例: 日本放送協会)



- ①リモコンの「d」ボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択
- ③「河川水位・雨量情報」を選択
- ④水位観測所を選択